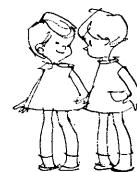


昭和の幼稚園の歩み

—及川ふみ記念座談会—

出席者	聖徳学園短期大学
山 德	元千代田区立番町幼稚園
清 堀	音羽幼稚園
高 沼	お茶の水女子大学附属幼稚園
村 久	学習院附属幼稚園
水 合	洗足学園附属幼稚園
木 館	
津 木	
司 記	
会 錄	



津守 きょうはさる五月に亡くなりました
及川先生を記念して、及川先生がご活躍の
時代の日本の幼稚園の歩みについて、直接
経験された方々からお話を聞いていただきた
いと思います。先生はお茶の水女子大学の
附属幼稚園に長いあいだおられたわけです
が、この間の、大正・昭和・戦争中・終戦
直後を経た日本の幼稚園の歩み——お茶の
水幼稚園の歩みというようなもの——をお
集まりの皆さんにお話していただけだと、
これは後々まで残る歴史的資料にもなる
し、また、及川先生を記念する上でも意味
があるのでないかと考えまして、このよ
うなお話の機会を考えたわけです。

昭和初期の附属幼稚園を中心とし て——誘導保育のころ

津守 では筋をたてて、昭和のはじめの幼
稚園のようすなどからお話し願いたいと思
います。
以前「幼児の教育」に「初期の誘導保育
の実際」という題で大正十四年の『八百屋』

あそび『及川ふみ記』それから大正七年のと
よ子記の『動物園あそびの記』(これが誘
導保育の記事の最初)を再録しました。誘
導保育が実際にどのように行なわれていた
かというところからお話し下さいますか。

山村 大正六年に及川先生が幼稚園の先生
になられて、八年位たつてから私たちが入
ったことになります。

誘導保育は私たちが実習科卒業と同時に
始まつたことです。

津守 山村先生はいつごろ幼稚園の先生に
なられたのですか?

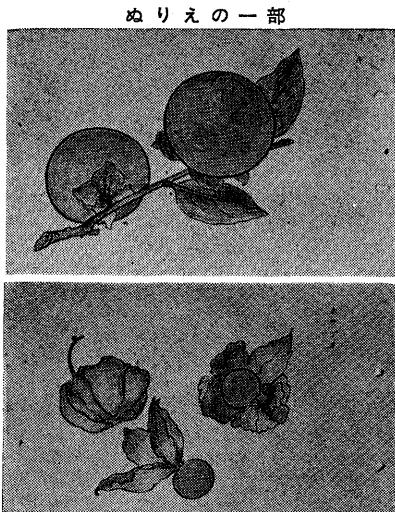
山村 大正十四年です。

ぬりえのこと

津守 では、大正から昭和のはじめのころ
の附属幼稚園のようすを話して下さい。

山村 とにかくお茶の水幼稚園といえば、
日本一の幼稚園という感じがあつたわけで
す。私は卒業と同時に千葉の附属幼稚園へ
行きましたが、必ずひと月に一回はお茶の
水幼稚園の研究会に参加していました。そ

のときに私は、及川先生からぬりえという
ものを手ほどきされて、それをいっしょ
げんめい印刷しては、子どもにぬらせ、自
分も喜び、子どもも喜んでいたのですが、
世間の人たちの中には、そういうことは古
くさいということをいいだした人がそろそ
ろあつたのです。でも、いわゆる誘導保育
と並行してやつていただけですから、誘導
保育が発展する中では、ぬりえのようなも
のを必要とする場合も出てきたわけです。
今やつてているような、絵をかきましょう、
何をやりましょう、といったようなこまぎ
れ的保育ではないわけですから、
やはり生活の流れの中で、ぬりえ
をする遊びが有効に発展していく
たので、私は少しも悪いこととは
思つておりませんでした。けれど
も、一般的には、ぬりえそのもの
を持って行って自分の幼稚園でこ
まぎれにやるような形になつたの
で、ずいぶん形が変わってきたと
思うんですよ。



清水 「柿」「つゆくさ」「とろろあお
い」とか、「ほおづき」「もくれん」など
日本画を勉強していらしたから。
山村 いきなり子どもに渡してしまうの?
徳久 いえ、私が描いて、それをぬりえに
して、刷って、子どもにさせるわけ。
よく覚えていて。

山村 いきなり子どもに渡してしまうの?
徳久 いえ、私が描いて、それをぬりえに
して、刷って、子どもにさせるわけ。

山村 ただ空にかくのではなく、実物は子どもにはかけないから、先生がとにかく実物に似たものを描いて子どもに与える、そう

すれば、子どもがそこからまた何か創りだすだろう、というのが先生のお考えだった

が、むしり紙をなさいまして、なるほどこれはいいな、この方がいいなど思ったことをはつきり覚えております。

誘導保育の実際

わけですが、創りだすだらうの方は皆は考へないから、模倣だと非難されたのですね。ちょうど、表情遊戯がいけないといつた時代でしたからね。

清水 及川先生はきれいなものに目をむけさせると、いうおつもりがあつたと思うんですね。動くおもちゃなどもおつくりになつたでしょ。それをどういうふうに子どもにさせるとか、どういうときによどみに投げかける材料にするとか、そのとき説明なさいましたよね。その説明をなさつてから、とりかかりの一つの手段として教えて下さいましたから。

徳久 あのころは紙を切るのに、線を与えてその通りに切らせていましたね。風船とか、蝶蝶とかの形を刷つておいてその通り切らせていました。そのうちに新庄先生

徳久 そのころ、誘導保育の一つでしゃうか、大きな砂箱を部屋の中において、それに砂を入れて、聖橋を作りました。粘土を何貫目使いましたかしら……。また、そこに、自動車とか人とか、草を植えたりして。今考えると、ああいうのはずいぶん新しいように、毎日帰るときに、ぬれぞうきんをかけたりして苦心したのを覚えておりま

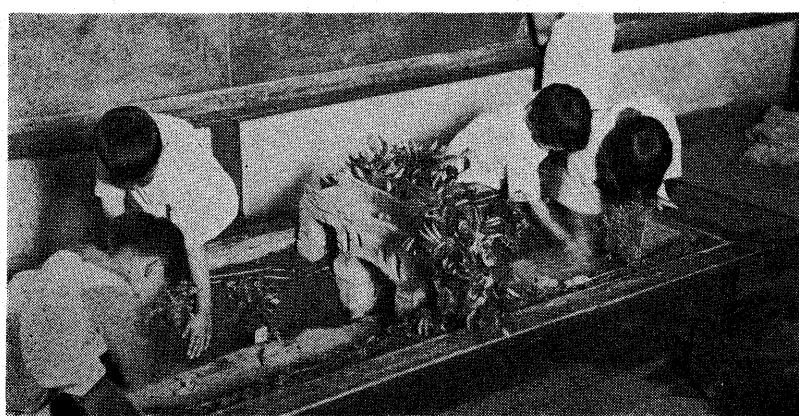
す。

清水 ずいぶん新しいことでしたよね。

津守 昭和のはじめころ？

山村 昭和二、三年の頃でしたね。私が千葉の女子師範の幼稚園へ勤めましたら、いわゆる誘導保育の新しいところをやってもらいたいとか、いろいろと期待されてしまつたんです。私はとにかく、今は考えら

砂箱（お茶の水駅・聖橋付近）

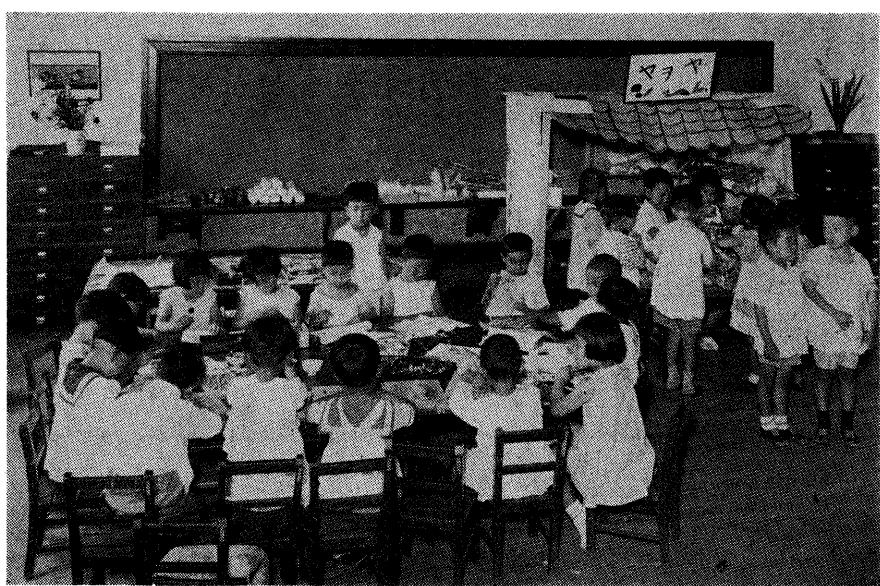


れないような一年保育だけを十一年間続けてやりました。私が一年保育をやつておりますときには、本当に一年保育の発展過程が急速にのびていくよう自分が自分でわかりました。いわゆる誘導保育的なものは二年目にならないとできないとおっしゃる方もずいぶんあります、一年保育の二学期のはじめなど、本当によく誘導保育ができたんですよ。ですから私は長いあいだ一年保育と二年保育の功罪ということを研究したいと思っておりました。

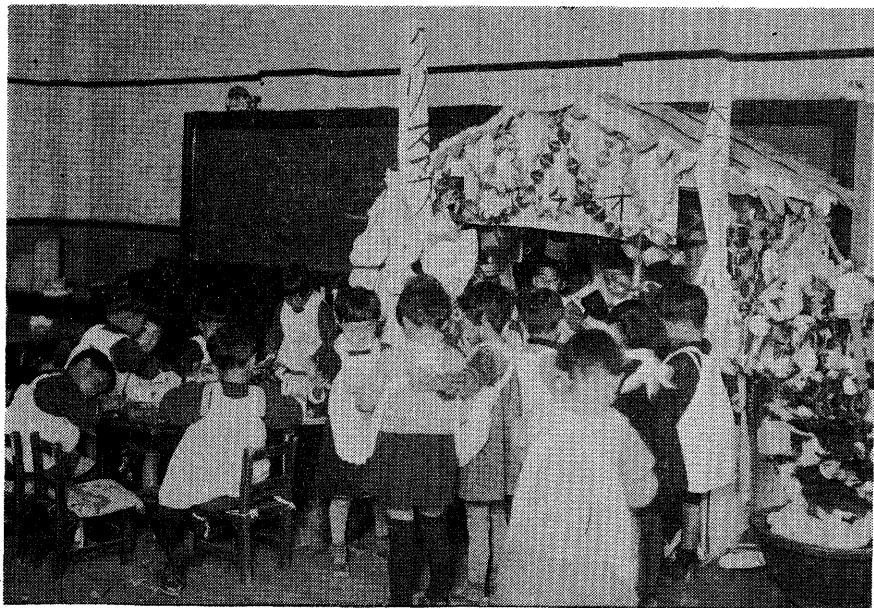
運動会の後などにはそれこそ、粘土をいっぱい出しておき、いわゆる運動場をこしらえ、人は全部粘土で作ったり、アーチをこしらえたりしました。一年保育の子どもでも、けつこうやつたのですが、今、あのような雄大な作業はどこにも見当たりませんね。本当にどうしてでしょう。のんびりと子どもといっしょに一日も三日もかかって、何も心配なしに運動会の記憶をまのあたりに目にうかべながら、チョコチョコ行って粘土を持ってきてくつづけてみたり、紙を貼つたり、紐よこせとか、きれが欲しいとか、子どものいう材料をそこへ出してきてあげて、一日中、誰の手伝いもうけないでの雄大なものができたのに、どうして今はできないのかと思いますね。

津守 全くですね。先生は千葉の女子師範の附属で、そこで誘導保育ができたわけですね。

山村 やりましたね。ですから三クラスありましたけれど、一年保育に誘導保育ができるので、二年保育の年長の先生がいっしょにな



昭和初期の誘導保育の実際（八百屋さん）



つてやつて下さいました。

徳久 長い間かかるってやる、というのが今はあまりやられていないですね。

山村 やっているところはやっていらっしゃるでしょうけれど。ちょうど誘導保育だけなわのときでしたね、私は昭和十一年に富士見幼稚園へ転任しました。そして倉橋先生をお招きして、今でも忘れませんが、小学校長津田信雄先生の第二類の教科——今の生活プランというのをどうかいろいろな新しい学習が盛んになつてきて、小学校が発表するから幼稚園もやらないか、というので、私も意気揚々として、保育のテーマの考え方を、倉橋先生を前に演説したんですから。

テーマを靖国神社にとって、また靖国神社の祭りの前後を一週間くらいの設定で誘導保育をしたんですよ。

津守 そのころ、徳久先生のところでも誘導保育をすることができたんですか。

徳久 ええ、それに類したものは今でもやつておりますけれど、ゆっくりやるということは少ないんじゃないですか、そのころは一学期中一つのことが発展してねえ。

山村 やはりいまは、週案や日案に追いまわされているのではないでしょか。

私が四十四年間先生をしている間に、保育案不要論というのが二回まわってきてますね。今まで、それらしい傾向にちょっと動いて

てきているでしょ。

二十五、六年ごろじやなかつたですかし
た、和田実先生がいいだして、私も「幼児
の教育」にさかんに書かせていただきまし
た。保育案のいらぬ保育案をつくらなけ
ればいけないというので。今また少しそう
なつてきました。あまり子どもが忙しきま
で、先生たちに、幼児不在のプランが多
い、ということばが出てきましたから。

徳久 それにリズムといいますかしら。昭
和のはじめころ、先生が子どもにそのまま

教える、という表情遊戯が主でしたねえ。

自由表現ということはあまりなかつたです
ね。右に手をあげて、左に手をあげて、右
足を出して、といわれるのを子どもに教え
て。

津守 遊戯の振り付けがきまつっていたわけ
ですね。

山村 今でも忘れられません。今の文京第

一幼稚園ができたばかりで、関東で、初め
ての独立園舎だというわけで卒業記念に参
觀に行きました。そのとき、園長が台の上

に立つて、一回目は目を開けて、先生がや
るのを見、そのまねを子どもにやらせて教
えるんですよ、二回めは目をつぶつて、

三回めは、あなたたち一人でやりなさい、
といわれるんです。順序があるわけ。

徳久 実習生がいらっしゃると私は和服に
ピンクのたすきをかけて、まず兵隊さんの
弓とか何とか教えるのが一つの役でした。

いま、幼稚園ではこんなのをやつていると
いうことでやりましたよ。

山村 堀合先生たちの時代にはそれはなか
つたですか？

堀合 それを私は、いまご出席の先生たち
から教えていただきました。

及川先生はピアノを弾かないという印象
があつたでしょう、私たちに。それがある
とき、「及川先生がピアノ弾いたよう！」と
いう声がきこえたときがあります。そし
たら、広い遊戯室から先生が出ていらして

「私ね、今ピアノ弾いてきたのよ」とおっ

しゃいました。あら惜しいことをした、
行ってきてくればよかつたと思ったこと

が一度ありましたよ。先生には助手がつい
てましたでしょ、いつも。

清水 及川先生にはピアノのじょううずな助
手がいて、その方が弾いていらっしゃいま
したから。新庄先生もそうでしたよね。

山村 本当に私も、及川先生が子どもとい
つしょにお遊戯をなさつていらっしゃると
ころは見たことがないです。

堀合 子どもといつしょに歩いたところは
見たことがあります。

徳久 生徒にさせていらしたですね。先生
はみていらしたけどね。

山村 昔から運動会などあつたわけ？

清水 本校と全部いつしょにしましてね、
大変でしたよしばらくは。外苑を借りまし
た。及川先生もごいっしょでしたが、何を
したのか覚えておりません。

山村 長い袖でたすきかけて運動会したの
ですか？

清水ええ、そうよ。

山村 そうすると、お茶の水幼稚園の保育
形態はあまり変わらなかつたわけですね。

堀合 それは変わらないと思います。

清水 昭和九年から終戦ころまでが、誘導保育の全盛時代だったんではないかしら。

津守 では、そのころのようすを……

清水 私など無我夢中で、あまり覚えておりませんの。でも、いまとそんなに違わないけれど、大きなものはしようとやりました。大きな自動車は忘れられません。

どこかの組で汽車をお作りになりましたね、木箱で機関車を作つて、りんご箱でつなげて、輪などみなどからか買つてきて……。

山村 そういうことは一組だけでするんですか。

清水ええ、そうなんです。だけど乗つたりするときには呼んで下さるし、乗せて下さるんです。みんなうらやましくつね。

徳久 あのころ、大きな積み木があつたですね。ビル氏の積み木も。

清水ええ、ありましたね。

徳久 先日昭和八年の卒業生の方がそのと

きのハミリを見せて下さいました。それを

見ましたら、ビル氏の積み木を持って、一人一人軍帽をかぶっていました。このころ

から先生はゲバ棒を指導していたんだといわれたんですが。

清水 軍国調がそろそろ入つてましたからね。

山村 昭和十四、五年ですね。

清水 背のうをみんながほしがりましてね、誘導保育かどうかは覚えていないのですが、砂糖の箱がちょうどいいんですよ。砂糖屋さんでたくさん買つてきました、それで背のうをつくつたんですよ。

山村 何を入れましたの？

清水 さあ、何だったかしらそれは覚えていませんわ。形だけそれを背負つてね。

山村 そういうことをするのに、みんな現 在のようになくしなかつたですよね。

徳久 あのころ、大きな積み木があつたですね。

津守 そのころ、幼稚園がすんで家へ帰るまでのあいだ、先生たちはどうしていまし

たか？

徳久 本当に時間があつたことは今思ふとふしぎなくらいです。

山村 子どもが帰つてから夕方までのあいだ、そんなに忙しいと思わないで、ピアノを練習したり翌日の準備ができたんですよ。

清水 とにかく、掃除はしつかりやって、すっかりきれいにして帰りました。

徳久 女児が十人位いて、その子どもたち一人一人に私がお人形を作つてあげたものです。人形はみんな違いましたね。人が自分の子どもという人形を持つていたんです。そんなひまがよくあつたと思うんですね。毛糸で髪を作つたりして。

津守 いま 人形というと考えが違うのではないかと思うんですよ、以前は抱くことでしょう。いまは、カンナちゃん人形、そしてきれいな着物を着せかえることが楽しんで、抱いてかわいがるようなものはないですね。手がとれても、足がとれても、真っ黒になつてもかわいがつていいようなのは、今の子どもにはあまりないみたいで

保育法真諦ですものね、何か夢中になつて
うかがつたものですわ。

津守 あのころは、お茶の水の附属幼稚園
ばかりでなく、世間一般でも、そういうこ
とをやつていた、やろうとしていたのでし
ょうか。

清水 感心するだけだったと思うんです
よ。

山村 とてもまねができるなどだと、先

生が思いこんでしまうのですね。これもい
までも忘れられないことですが、毎年の夏
の講習に、倉橋先生が誘導保育のお話をな
さつたでしょ。そうしたら、ある保育園の
先生が「先生、私の保育園にきて、一週間く
らい先生がやつてみて下さい」といった、
ということを聞きました。そんなことをお
っしゃつてもそれは理想で、現実にはとて
もできないといったようなことをね。

先生のおっしゃる精神を汲んで、自分の
幼稚園ならこれくらいの規模ができる、と

いうよう自分幼稚園に合わせてやろう
という意欲がなかつたんですね。お茶の水
の幼稚園をみると、子どもがいいから、家
庭がいいから、先生方が立派だからできる
けれど、うちの幼稚園ではだめだと思いつ
く。それで、うちの幼稚園ではだめだと思いつ
く。それで、うちの幼稚園ではだめだと思いつ
く。

の幼稚園をみると、子どもがいいから、家
庭がいいから、先生方が立派だからできる
んでものが先ではないかしら。

津守 今では、建物ももつと立派なのがほ
うぼうにあるし、その考えは減つてきてい
るのではないですか。

戦時中の幼稚園

津守 このへんで、戦争中のことを話題に
しましよう。このころは、まだあまりみじ
かなでの、幼稚園史の中でもあまりとりあ
げられていません。みじかなどころから出
して下さいませんか？

堀合 私の学生時代、そして奉職したころ
はまだまだ平和だったと思います。奉職し
て少しだつてから、世の中が少し戦争の中
にまきこまれましたね。それまでは、子ど
もを集めるということは幼稚園ではしてお
りませんでしたが、意識して集めるよう

清水 昭和十二年には、漢口陥落で旗行列
をしました。子どもの樂隊——たいこなど
持つて学校中歩きました。

沼館 倉橋先生が、幼稚園を戦時託児所に
きりかえなければならないとおっしゃった

及川先生がご相談なつてですね。
清水 新体制をしないといけないというの
を子どもに書かせて『私たちはよい子に
なります』と誓いのことばをいわせたりし
ました。そういうことをいわせてその後
「みよ東海の空あけて」をうたい、その後
で、鳩ボッボ体操をすることになりました
た。たしか毎日。時間はよく覚えておりま
せんが、昼前だったのではないかしら。

山村 私の園は、靖国神社が隣りでしたか
ら、濃厚でしたよ。毎朝集まつて、並んで
歩かせて、神社の前で四列に並び、先生が
まずかわ手を打つて、それを子どももま
ねして打つて、おじぎして帰る——これを
毎日いたしました。昭和十五年のことで
す。

のは、昭和十六年ぐらいだったのではない
かしら。今こそ子どもを守らなければなら
ないというので、私たちは毎月集まりまし
たでしょ。あまりお茶の水で相談会をして
はいけないというので、番町幼稚園に移
たでしょ。その番町の集まりで『戦時託児
所』というカッパンをかけないで、何とか幼
稚園をやつていただきたいという運動をしたけ
れどどうしてもできない』といふお話をき
きました。幼稚園をやつてはいけないとい
うので、泣いたじやありませんか。後にな
つて、倉橋先生がそのためにずいぶん苦
労なさったのをうかがいましたけれど、そ
のときには、いつもおっしゃることと違う
というので私たちにはねえ——。

津守 戰争がはげしくなったころ、お茶の
水の幼稚園が休園になつたことはあります

か？

堀合 三月十日の大空襲で、及川先生の家
がまず焼けてしまいましたが、もうそのこ
ろは子どもがどんどんやめて、自然に休園
になつてしましました。

のは、昭和十六年ぐらいだったのではない
かしら。今こそ子どもを守らなければなら
ないというので、私たちは毎月集まりまし
たでしょ。あまりお茶の水で相談会をして
はいけないというので、番町幼稚園に移
たでしょ。その番町の集まりで『戦時託児
所』というカッパンをかけないで、何とか幼
稚園をやつていただきたいという運動をしたけ
れどどうしてもできない』といふお話をき
きました。幼稚園をやつてはいけないとい
うので、泣いたじやありませんか。後にな
つて、倉橋先生がそのためにずいぶん苦
労なさったのをうかがいましたけれど、そ
のときには、いつもおっしゃることと違う
というので私たちにはねえ——。

津守 戰争がはげしくなったころ、お茶の
水の幼稚園が休園になつたことはあります

か？

堀合 在籍はありました。が、自然に来な
くなつてしまつたのですね。先生たちも出勤
できなくなり、空襲がはげしくなつてから
は交代で来たりしましたね。

山村 東京都の幼稚園休止命令は十九年五
月。戦時臨時措置で休止命令が出されました。
た。託児所に切り換えるものは切り換えて、
一応全部休園ということになりましたから
私のおりました富士見幼稚園でも、父兄を
講堂に集めて涙ながらに解散しました。そ
れこそ劇的シーンで閉鎖されたんですよ。
清水 お茶の水の附属幼稚園では、昭和十
九年の一学期はやつておりましたね。遠い
子どもはだめ、というので一組にまとめて
しまいました。

堀合 来る子どもが少なくなつたので一組
にまとめて、私が持ちました。それを三月
までやつたと思います。それでも来る子ど
もはどんどん少なくなつて自然に休園。

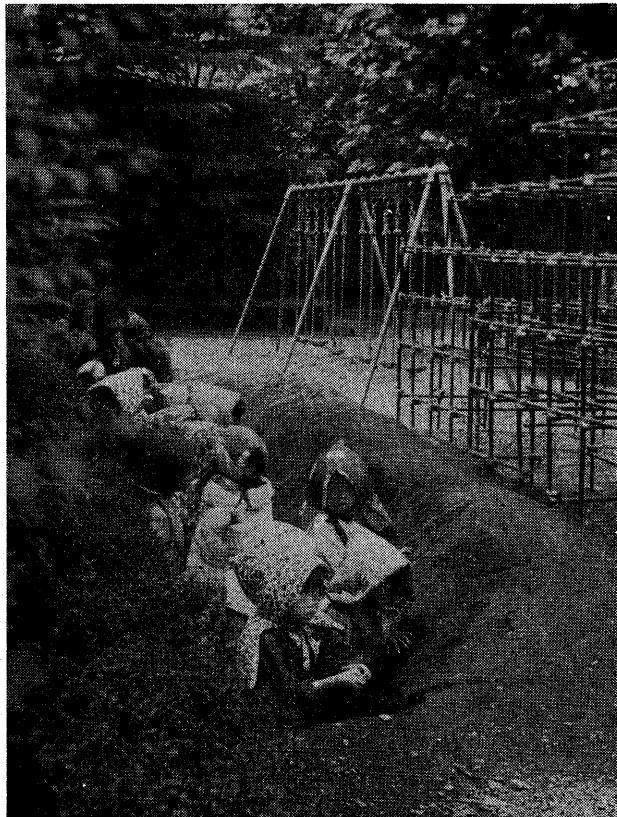
山村 二十年三月九日に東京が空襲で全滅
に近くなつたのですが、当時子どもはいな
かつたでしょ。

山村 十九年に幼稚園休止命令、二十年三
月九日に東京が空襲で焼け、お茶の水幼稚
園は、自然消滅になつたわけ？

堀合 そのあと幼稚園の建物に文部省が入
りましたの。一時、附属幼稚園が事務所み
りました。



戦時中のあそび



幼稚園の庭につくられた防空壕で 昭和18年7月

たいになつたことがありました。終戦と同時に引き揚げたじゃないですか。

山村 まず及川先生のお宅が焼けて、大塚の寮に仮住いなきつたとき、急に先生が老けたのでびっくりしました。そのとき、ちょうどお餅がとどいたというのと同じそ

になつたことを覚えております。

堀合 お茶の水の幼稚園にきてみましたら、及川先生がモンベをはいて畠を作つていらっしゃいましたよ。

徳久 お茶の水の幼稚園にきてみましたら、及川先生がモソベをはいて畠を作つてしまつて、はるかむこうの現在の厚生省の

堀合 子どもが帰ると防空壕を掘つたんです。倉橋先生や及川先生もいっしょに掘つたんですよ。おとの背丈より高く、空襲警報がなるとお迎えがきて、残りの子どもがそこに入るんですの。

沼館 そういう作業のとき、いつも及川先生が先頭でしたね。

清水 燃料がなくなつたので、スズカケの木の枝を払つて、細いのと太いのと分け、あなたのはこれだけなどと分けてくださつたんです。どんなときにも、先生は皆にわ

建物までみえて、全部畠でした。それにつけても及川先生は畠がお好きでしたね。園芸の大岩金先生といっしょになつて畠仕事をなさいます。子どもが帰ると、黙つてモンベをはいて、上つぱりを着て、手ぬぐいをかぶつて、地下足袋をはいてお出になるんです。私などはそういうことが好きではなかつたけれど、最後は分担させられてしまひました。ごまや南京豆など、ゴザをひいてきれいに並べ、雨が降つたといつては皆でとりこんだりしてね。

けてくださいるんですね。

に作ってあげるんです。

津守 高木先生は？

堀合 次から次と大事なことはちゃんと及川先生が考えて下さるのね。

沼館 女高師が軽井沢へ疎開したでしょ。及川先生は家が焼けてしまつたから私の田舎から軽井沢へいらっしゃいましたの。明日は軽井沢で講義というときは、干飯のようものを茶筒に入れて、出るときはおにぎりを三十分、三人前位こしらえていらっしゃるんです。一週間ほど前から私の母に

いておきましてね。とにかく皆さんにも分けられるように背負えるか、持てる分だけ、ちゃんと持つていらっしゃるんです。

時間もきちんととしていて、それこそ見習いことばかりでしたよ。

堀合 こやしまでかついたんですね。及川先生が率先してなさるので、しないわけにいかないんですよ。

津守 幼稚園の教育内容だけでなく、その

まわりの生活つてたいへんですね。

堀合 穫れたカボチャでおしることを作つたり、茶巾しづりなど、子どもたちにも全部

豆の区別をなさるんです。大きな帽子をかぶりモンベをはいてね。午前中二時間、午後二時間とか。それをせかせかするわけではなく、私たちにはできないことですねえ。

山村 信念の人でしたからね。

清水 他人にはしいないんですね。

山村 来る人は歓迎するんですね。

沼館 だから“やりなさい”とはおつしやらなかつたですね。

山村 ですから、学生の中には在学時代には及川先生はこわいと思っていた人がずいぶんいると思います。ところが卒業してから何かの折に一度文通でもしますと、私た

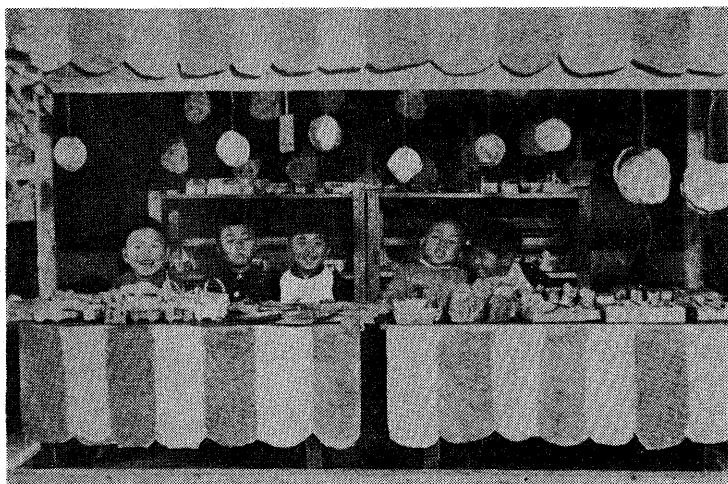
ちよりよほどその人のことをよくご存じなんです。私などクラスの人の消息を、逆に及川先生からきくことがしばしばでした。

高木 ええ統いておりました。皇后さまに

ちょうど皇后さまがいらっしゃるというので、お迎えをしましたが、子どもが全員“集まる”ということは當時としてははじめてでした。集まって遊戯をし、皇后さまにお見せするという時代でした。また、食糧事情も悪くなり、庭のまん中にじゃがいもなど作る時代でした。実習生としていろいろお手伝いいたしましたが、おなかがすくだろうというので、実習生にもおやつを下さいました。茶巾しづりがでてまいりました。小さいのでもけんかしないようにと二つに切つたりして、そんな時代でした。

津守 そのころ、誘導保育としては統いていたのですか。

昭和26年頃もおこなわれていた誘導保育（おもちゃ屋）



土で、新聞をこまかく刻んで、カメ

らしいですよ。組立式のようにしてね。

の中へ入れるんですね。材料もそん

徳久　ずいぶん進歩的でしたね。

なに売つてませんから、努力して自

高木　人形芝居の舞台も作りました。

分で作りだす時代でした。

山村　誰がするの？

沼館　及川先生が御所へお店屋さん

高木　私どもです。見物人は、富さまと

ごっこをもつて上がつたのはいつご
ろですか。

高木　昭和十五年位？ちょっと前十
年位からみどり会の人が上が

沼館　かつて、皇太子さんの教育をどうす

っておりましたね。今までああいう
お子さま方は本当の教育者に会わな

るかで相談会があり、及川先生の義兄の海

いので子どもらしくなる、それ
で子どもらしくなるようなどいいう倉
橋先生のお考えで、はじめられて、
私たち推薦されて上がらせていただき

軍大将が御所に行つたというような話を
うかがいましたが、そんなときには及川先
生のお話をずいぶん入るんでしょ。

高木　ですから学習院に幼稚園を作ると
き、幼稚園のことを一番よく知つていらっ
しゃる先生ということで、及川先生にお話

があつたのでしょうか。

沼館　ごっこ遊びのさかんなころ、
十四、五年頃ですね。

山村　材料だけ持つて行ってお目に

津守　ちょっと話はそれますが、学習院の
幼稚園は昔あつて、一時とだえていたんで
すか。

お目にかけたいといふので、清水先生は、
お店舗さんごっこをしていらして、それ
をお手伝いいたしました。いわゆる新聞粘

沼館　お店舗さんごっこをやりましたでし
ょ。それを御所へ持つて行ってあげました。

山村　昔の幼稚園を見にまいりましたわ
ね、すごく立派でした。

徳久 解体保育をしていました。

山村 倉橋先生のご指導があつたからでしょう。絵を描きたい人は絵の先生のところへ行くんです。

学習院とお茶の水は先生を交換するなど

といふこともあつたのでしょうか。

津守 いつごろまで、どこにあつたのですか。

高木 信濃町にございました。戦争ごろま

であつてその後なくなつてしましました。

戦後はできなかつたですね。浩宮さまが入られるので大急ぎで院長先生の家をとつてつくりました。

終 戰 前 後

津守 さて、東京都の幼稚園閉鎖のところへいきますが、閉鎖してそのあとはどうなつたのですか。

山村 二十年八月十五日に終戦。二十一年

一月ごろからボツボツできるようになります。休止命令がでると、たいてい、役所の人が幼稚園に住みこんで、積み木をこは

ん炊きに使つたり、重要書類を焼かれたり

したんです。だけど終戦になり、二十一年からぼうぼうにできましたね。

一番早かつたのが、二十一年、港区の中

之町幼稚園。

徳久 焼けなかつたところね。

山村 港区の西桜は昭和二十二年、千代田区は、二十四～六年に全部の小学校に幼稚

園をつけて、一躍有名になりましたね。

徳久 私のところは昭和二十二年。電気も

何もなく、先生は私一人。夜はろうそくで

仕事をしました。子どもヤーイ、で、二歳

でも三歳でも四歳でも、子どもであればい

いんです。二十人位で始めました。

山村 最近になって当時の保育料はいくらかを調べるのに苦労しました。書類がない

んですよ。二十円位だったと思います。

沼館 私は、二十一年に及川先生から電報で牛込第六小学校に附属の幼稚園を作るか

ら、そこへ行くようにといわれました。疎

ら、牛込まで通うのに大変です。二ヶ月

くらい行きましたね。私は私立にばかりお

りましたから、ここで校長先生に何から何までくのは骨が折れるし、電車も大変だ

し、それで、同窓の方にゆずつてひっこみました。

山村 そのころ、先生はたいてい泊まりこみでしたね。小学校も教室がいていますし、通うのに乗物も大変なときでしたから。

津守 十九年五月から二年近くの間、東京には公立幼稚園はなかったのですね。

山村ええ、下谷の竹町幼稚園などは託児所に変わり、身分も託児所保母になりました。それでなければ小学校の先生に変わったんですよ。ある先生などは小学校の先生になり、いつも校庭にいたんですよ。いざ敵が来たら竹ヤリで、というわけでね。

徳久 休止命令が出た当时、あいた園舎はいろいろに使われましたね。私のところの園舎は裁判所が使いました。

山村 四谷第三は大蔵省が使っていましたね。

沼館 私のおりました幼稚園は、大森にあ

つて、そのまわりの人たちは生活にも困らないので、皆、疎開したのです。三月で閉鎖し、五月に全焼してしまいましたが、疎開していた後でしたので、傷ついた子どもはいなかつたです。その後出てきましたら焼野原で、本当に何もなかつたですね。

津守 終戦直後の附属幼稚園はどうだったですか。

堀合 護国寺のむこうまで誘って歩きました。いろいろな子どもが来て、以前の幼稚園のおもむきとは大分違うんです。しらみがうつったのを覚えていました。D・D・Tをまいりしました。

津守 そのころも誘導保育?

堀合 ずっと同じですね。

山村 長い歴史があるようだけれど、考えてみると、ワッと過ぎました。四十四年ですよ私は、及川先生によばれて長岡の温泉場の幼稚園の先生になつていれば、今のようにはならなかつたですね。

信州の山の中から電報で呼ばれて、長岡

の温泉場で幼稚園ができるから行くようにということでした。お寺の幼稚園でしたよ。ところが昨日先生がきまつたあとどういうので、がっかりしました。

おわりに

津守 では沼館先生に、及川先生が活躍の最後である洗足学園短大に幼児教育科ができますよ、とおっしゃるんです。幼稚園に

きるところのことをうかがわせて下さい。

沼館 先生はお茶の水をおやめになつてか

ら私立幼稚園をながめられたのですが、幼稚園をよくする、発展させるには、"先生"が第一ではないかというお考えを一層強く持たれ、これが洗足に幼児教育科をつけた

第一の目的だったと思います。

設置の手続きとか、方針とか、先生のお指図で、全部して下さったのです。

短大生の指導については、私どもが学生のころと同じですが、でもね、とてもおやさしいんですね。

身をもつて、というところは昔と少しも変わらないですね。欠席するどお宅へ電話

をかけたりして、北海道までも電話をかけられるんです。学生を呼び、話をし、学生が実行できなければ、親を呼んで話をすら。手をつくしても幼稚園にふむきだとうときは、あなたは会社か他のところがいいですよ、とおっしゃるんです。幼稚園にふむきだと思えば、はつきりとおっしゃる、それはお偉いですね。むいた方面に就職させてあげようと心配なさつて、ゆきどりておりましたよ。

誠意をもつてお話ししながら、そのときはちょっとどこわいけれど、その通りのことばかりでした。

一同 本当の教育者でしたね。

津守 きょうは、主として戦時中までの幼稚園の話になりましたが、いまでも大変に参考になることがいろいろと伺えたと思いました。これから幼稚園が、ほんとうに幼児のものになってゆくための努力をもつとしていかなければならぬと思いました。

皆さん、どうもありがとうございました。
(おわり)